

■タイトル

底排弁操作禁止表示

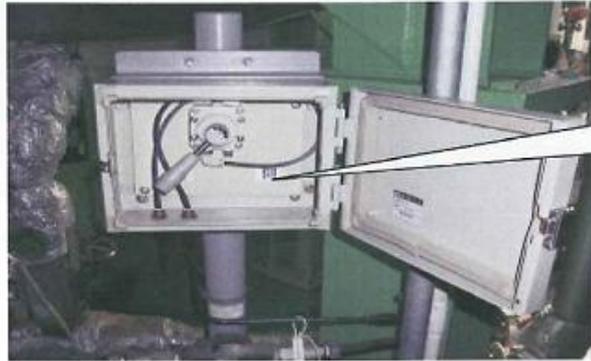
■概要

●反応釜の内部洗浄・点検時、底排弁を開の状態にしているが、他の作業者が誤って底排弁を操作し、内部洗浄・点検を実施している作業者の手を挟まないように底排弁作動用エアバルブを閉止する事を実施している。併せて現場の開閉スイッチBOXに操作禁止表示を取り付け災害防止対策とした。

目で見える管理コンテスト応募用紙

グループ名	TPM Docomo
作品名	底排弁操作禁止表示

【写真】



釜入り作業中に誤って開閉操作すると、内部の作業者の手が挟まったりと危険である。



【アピールポイント】（特徴、「油断と過信」未然防止の効果など自由に記載下さい。）

釜入り作業中は内部洗浄水が排出できるように底排弁を開の状態にしている。底排弁弁棒点検は触手にて行うが、その際他の作業者が底排弁を閉にすると内部作業者の手が挟まるといった危険がある。



エアバルブ



C/C盤 各スイッチが隣接している間違えて他のスナップスイッチを切る可能性ありまた、釜入りしているので濡れた手で復帰すると漏電の可能性あり

釜入り作業時は底排弁が作動しないよう底排弁作動用エアバルブを閉止するか、電気室にあるC/C盤のスナップスイッチを切るように思いついたが、復帰をするのを忘れてしまう可能性があるの上記のような表示板での対策を実施した。